



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月24日

上場会社名 小松ウォール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 加納 裕

問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員管理本部長

（氏名） 熊田 雅巳（TEL）0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,698	12.0	1,184	42.4	1,241	45.0	786	50.4
29年3月期第3四半期	20,271	△0.8	832	△50.2	855	△48.5	522	△55.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第3四半期	85	28	—	—
29年3月期第3四半期	56	72	—	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,713	86.6	30,069	86.6	—	—
29年3月期	35,302	84.4	29,782	84.4	—	—

（参考）自己資本 30年3月期第3四半期 30,069百万円 29年3月期 29,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	35.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	32,500	9.9	2,900	40.8	3,000	39.2	2,000	13.4	217	00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期3Q	10,903,240株	29年3月期	10,903,240株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	1,681,501株	29年3月期	1,686,481株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	9,219,902株	29年3月期3Q	9,216,374株
----------	------------	----------	------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(30年3月期3Q 244,400株、29年3月期3Q 249,600株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の拡大による設備投資や雇用環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況にあつて当社は、ものづくりの原点である品質第一を最重要テーマに掲げ、生産体制の整備を進めており、また、営業活動においては営業案件1件当たりの製品カバー率を高めるとともに、四半期毎の受注拡大にも一層取り組み、受注高の伸張に注力してまいりました。また、若手営業社員への技術教育につきましても一層の充実を図りました。

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、大型物件に対する積極的な対応を進めるとともに、首都圏を中心とするホテル建設など需要が拡大する中において、安定した受注環境が継続していることから受注状況は良好であり、受注高及び受注残高は前年同四半期と比較してそれぞれ8.3%、8.9%増加し、通期業績予想に対し順調に進捗しております。

売上高につきましては、民間向けの事務所・オフィス、福祉・厚生施設などが好調に推移したことにより、第3四半期累計期間において過去最高となる226億98百万円となり、前年同四半期と比較して12.0%の増加となりました。

利益面につきましては、従来からの計画的な新規設備投資を継続的に実施し、更に生産性が向上したことにより、売上総利益率は34.3%となり、営業利益11億84百万円（前年同四半期比42.4%増加）、経常利益12億41百万円（前年同四半期比45.0%増加）、四半期純利益7億86百万円（前年同四半期比50.4%増加）と大幅な増益となりました。

当第3四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

## 品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	7,345	108.4	7,831	109.5	2,455	106.5
固定間仕切	5,946	115.4	6,237	94.8	4,520	90.4
トイレブース	4,399	112.7	5,122	108.3	2,909	104.6
移動間仕切	3,481	112.2	5,193	130.2	4,506	149.7
ロー間仕切	417	96.1	415	90.2	76	80.5
その他	1,107	123.1	1,205	108.7	361	83.7
合計	22,698	112.0	26,004	108.3	14,829	108.9

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は347億13百万円となり、前事業年度末と比較して5億88百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は199億28百万円となり、前事業年度末と比較して3億85百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金19億1百万円、電子記録債権3億46百万円の増加と、受取手形及び売掛金18億62百万円の減少によるものであります。固定資産は147億84百万円となり、前事業年度末と比較して9億74百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産5億59百万円、投資その他の資産4億14百万円の減少によるものであります。

負債の部では、流動負債は33億30百万円となり、前事業年度末と比較して9億97百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金4億43百万円、買掛金3億6百万円、未払法人税等2億56百万円の減少によるものであります。固定負債は13億13百万円となり、前事業年度末と比較して1億22百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は300億69百万円となり、前事業年度末と比較して2億86百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は86.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年4月20日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,161	9,063
受取手形及び売掛金	9,694	7,832
電子記録債権	1,621	1,967
たな卸資産	534	728
その他	534	340
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	19,543	19,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,857	9,906
機械装置及び運搬具	6,515	6,526
土地	4,663	4,663
その他	927	966
減価償却累計額	△8,846	△9,505
有形固定資産合計	13,118	12,558
無形固定資産	467	467
投資その他の資産		
その他	2,185	1,769
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	2,173	1,758
固定資産合計	15,758	14,784
資産合計	35,302	34,713
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,703	1,397
未払法人税等	282	26
賞与引当金	949	505
その他	1,393	1,401
流動負債合計	4,328	3,330
固定負債		
退職給付引当金	1,016	1,103
役員退職慰労引当金	109	86
役員株式給付引当金	26	59
その他	38	63
固定負債合計	1,191	1,313
負債合計	5,519	4,643

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	26,245	26,464
自己株式	△2,696	△2,688
株主資本合計	29,684	29,911
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	158
評価・換算差額等合計	97	158
純資産合計	29,782	30,069
負債純資産合計	35,302	34,713

## (2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,271	22,698
売上原価	12,950	14,907
売上総利益	7,320	7,791
販売費及び一般管理費	6,487	6,606
営業利益	832	1,184
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	8	9
受取保険金	8	40
受取家賃	18	17
その他	7	5
営業外収益合計	43	74
営業外費用		
売上割引	20	17
その他	0	—
営業外費用合計	20	17
経常利益	855	1,241
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	8	4
特別損失合計	8	4
税引前四半期純利益	847	1,237
法人税、住民税及び事業税	107	307
法人税等調整額	217	143
法人税等合計	324	450
四半期純利益	522	786



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。